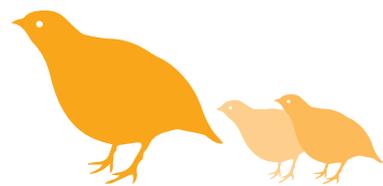


守谷市議会だより

こいゅいすい



2019.5.10 No.186



座談会

「ようこそ守谷へ」実行委員会

CONTENTS

座談会「ようこそ守谷へ実行委員会」…………… P2	ズバリ！市政を問う！！…………… P10
こんなことが決まりました…………… P4	議会レポート…………… P19
お金の使い道が決まりました…………… P8	部活動インタビュー…………… P20

市議会



「ようこそ守谷へ」 実行委員会

今回は、守谷市に新しく転入してきた市民を市民が歓迎するイベント「ようこそ守谷へ」の実行委員会の皆さんにお話を伺ってきました。

22年の歴史がある「ようこそ守谷へ」について、熱く語ってくださいました。



このイベントで

守谷が好きになつてくれたら最高です！

「ようこそ守谷へ」を始めたきっかけは。

アメリカに行った方が、ウェルカムパーティーを開いてもらい感激したのがきっかけと聞いています。

そのパーティーがとても楽しかったので、新しく守谷に転入した人たちをもてなすことを提案し、平成9年にもりや学びの里で、手作りの「ふれあいパーティー」として開催しました。

実行委員は何名いますか。

15名で活動しています。
年齢層は幅広く大学生から70代の方までおり、「ようこそ守谷へ」に転入者として参加し、今は実行委員として参加している方もいます。

最近、大学生2人が、守谷のためにボランティアがしたいということで加入してくれました。

どのような活動をしていますか。

イベント開催の3か月前から、週一回、皆が集まれる夜に会議を行っています。

そのほか他団体との打ち合わせなどもあり、かなりの時間を費やします。
99パーセントが苦勞ですが、残り1パーセントの喜びがとっても大きく大きいです。それがあから頑張れます。



昨年の「ようこそ守谷へ2018」の様子はどうでしたか。

毎年「友だちづくりの場」をテーマに取り組んできたおかげで、昨年は、新しく転入してきた市民が338名も参加してくれました。

市民サークルや団体が活動をPRするブースを出展したり、歓迎のイベントを実施したりして、多くの家族で賑わいました。

今後はどのようなイベントにしたいですか。

これまでのPRブースや地域別歓迎スペースでの同地区内での交流に加えて、今年の実行委員メンバー個人に1つのブースを持つてもらい、転入者だけでなく、自分たちも楽しむ歓迎イベントにしたいです。

市議会や市への要望はありますか。

市議会議員の皆さんにもボランティアで参加していただき、新しく市民になった方々と交流を持つてもらいたいです。

予算が少なく運営が大変なので、もう少し増やしていただければありがたいです。